

Nagahama Hikiyama Museum Special Exhibition



特別展

演じられた戦国 絵本太功記の世界

9月29日(土) ~ 11月4日(日)



秀吉出世物語屏風 (個人蔵)

開館時間：9時～17時（入館16時30分） 期間中無休

入館料：大人600円、小中学生300円

*長浜・米原市内の小中学生無料

主催：公益財団法人長浜曳山文化協会

曳山博物館

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町 14-8

TEL0749-65-3300/FAX0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

特別展 演じられた戦国 絵本太功記の世界

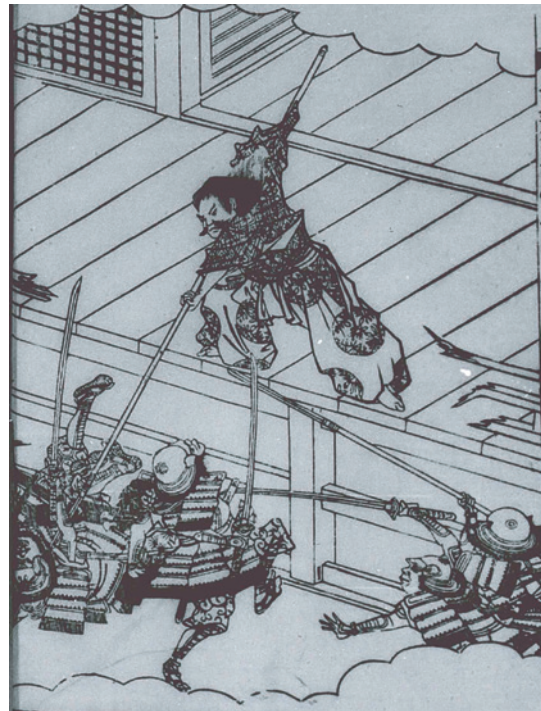
9月29日(土)～11月4日(日)

絵本太功記は、寛政11年(1799)初演。「絵本太閤記」などに基づき、明智(武智)光秀の反逆を中心に秀吉(真柴久吉)を絡ませ、全十三日の話を一日一段に構成。十段目「尼ヶ崎の段」は「太十」(たいじゅう)と呼ばれて有名です。浄瑠璃で演じられたのち歌舞伎化されました。

豊臣秀吉は乱麻の時代をその知恵を創意工夫で乗り切り、国内の統一に成功した立志伝中の人物であり、最も日本人が好む武将でもあります。普通に考えれば「絵本太閤記」のごとく、不世出の英雄の生涯を芝居に描き人々に夢と希望を与えつつ人気を集めることも可能であったでしょう。ところが「絵本太功記」は違います。中心人物は逆臣、明智光秀なのです。

内容は一見、謀反人の悲惨な最期を描いたもののように見えますが、行間からにじみ出てくるのは光秀に寄せる作者の共感です。光秀は、人々を不幸に陥れる暴君を天に成り代わって民衆のために成敗してやったのだという作者の思いが見えます。

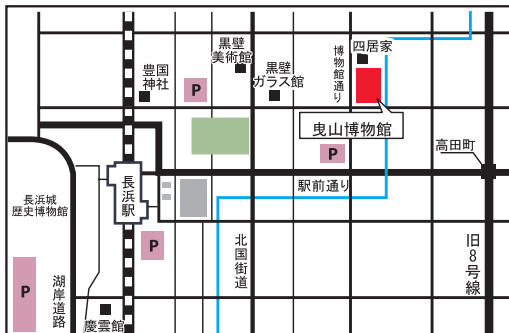
本展示では、歌舞伎に描かれた歴史に視座をおいて展示構成を行い、庶民に喝采をもって受容された絵本太功記から、時代の風刺精神を明らかにします。



「絵本太閤記」部分(本館蔵)



秀吉出世物語屏風(個人蔵)



◆主な展示資料

本朝百将図(長浜城歴史博物館蔵)、豊臣秀吉画像復元模写(安土城考古博物館、原本 多賀大社蔵)、明智光秀画像復元模写(安土城考古博物館、原本 本徳寺蔵)、明智光秀木像(福知山市蔵)、京本能寺合戦(福知山市蔵)、秀吉出世物語屏風(個人蔵)、絵本太閤記(本館蔵)、賤ヶ岳合戦図(個人蔵)、山崎合戦錦絵(個人蔵)、賤ヶ岳合戦図錦絵(個人蔵)、四国征伐錦絵(個人蔵)、絵本太功記長浜曳山祭狂言台本(本館蔵)

◆講演会「太閤記のさまざまー実録から伝説へー」

平成24年10月13日(土)

13時30分～15時 *聴講無料

曳山博物館伝承スタジオ

講師: 中村博司氏(元大阪城天守閣館長)

曳山博物館

〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町14-8

TEL0749-65-3300/FAX0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>